

# 2023年 半導体産業の展望

先端半導体アナリストが国際学会、企業へのヒアリングなどを通じて得たクローズな情報と、ネット、新聞などのオープンな情報から、半導体業界40年以上の経験を元に総合的に今年の半導体産業の展望をお話します。

## セミナー内容：

- マクロ的視点から見た今年の経済動向
- 米中半導体問題
- 今年の半導体産業のアウトック
- 日本の半導体産業の方向性
- 個人的な提言
- まとめ

## 講師プロフィール

オフィス三宅 代表、先端半導体アナリスト

三宅 賢治

技術経営修士(MOT)、博士(学術)

日本テキサスインスツルメンツに約30年勤務した後、中小企業に転職し、産総研のミニマルファブ開発に従事、2018年にはミニマルファブを活用した先端半導体パッケージの試作事業を立ち上げた。定年後は、技術経営コンサルティングを各種団体へ行っている。



- 福岡大学大学院 工学研究科 非常勤講師
- 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会 (NEDIA) 理事・九州NEDIA副代表
- 一般社団法人 ミニマルファブ推進機構 アドバイザー
- 公益財団法人 九州経済調査協会 嘱託研究員
- 一般社団法人 OSTi 理事
- IEEE EPS Heterogenous Integration Roadmap：航空宇宙 & 防衛技術部会委員
- ISSM(国際半導体製造シンポジウム)プログラム委員
- AEC/APC (先端装置制御/先端プロセス制御) プログラム委員